

2018年2月以降の新基準機に対するの対策

パチスロに関しては まずは射幸心の高い機種 30%以内に(設置台数と現状の稼働率は別リスト) 今後の機種は 天井なしの フリーズ 2400 以下となる、また 大当たり出玉は 300 枚以下(実質 280 以下) ベース 60 以上となる。ART 増加枚数は 1.73 枚以下

(参照 <http://www.asulead.com/> パチスロ傾向と対策)

パチンコに関しては、確変出玉 2800~3200 個 ベース 40(賞球 5 個) 確変突入率 75%以下 大当たり出玉は 1500 個 ラウンドは 10R 以下

(参照 <http://www.asulead.com/> パチンコ傾向と対策)

認定申請期間があるので、中古で 11 月、12 月認定申請機種を選択する。県によって違うが、10 月は 2015 年の検定機種 ⇒ 10 月中認定申請

11 月は 2016 年の検定機種 ⇒ 11 月中認定申請

(参照 <http://www.asulead.com/> パチンコ設置機種・パチスロ設置機種)

ここでパチスロのフリ天とは $\text{フリーズ出玉} / \text{フリーズ日数} + \text{天井出玉} / \text{天井日数}$ にて算出される 今後はフリーズ出玉も制限されフリーズ日数 も ART 増加が 1.73 枚以下となるので大きくなる、フリ天は小さくなる。

12 月以降は 2017 年の検定機種を導入 但し 認定申請してないので 3 年以内の使用期間となる。

撤去機は当然 パチスロは射幸心の高い機種 30%以内となるように撤去リスト機

2018年2月以降の新基準機に対するの対策

次に稼働が悪ければ2017年検定の機種(販売または中古再設置が可能となる)

パチスロは射幸心が30%以内なら検定期間のある。高射幸性機種を選択する(中古移動で認定は不可)方法もある。

パチスロの選択で BB出玉及びART出玉は200以上が望ましい かつフリ天の高い機種(来年2月以降に稼働が上がる可能性が高い) また円単価は低い機種(顧客の稼働率に反比例)を選択するほうが良い。

パチンコは当然確変出玉の多い機種で円単価の低い機種、デジパチの10Rを気にする人も多いが、現状のデジパチは15R+5R以下はオール10Rでこれをクリアできるので高いデジパチ(中古のデジパチが高値)にこだわる必要はない。

認定機に関しては長期使用(3年)となるので 設置中クリーニングの必要があろう。(aging)

パチスロの高射幸性の機種でなければ、もう一度稼働をどうしたら付けられるか考えたほうが良い。認定機は同一法人内であれば移動が可能、ただ当然撤去した機種は販売はできない、覆水盆に返らず。

2016年の後半の機種から2017年の機種は1年半~2年半以上の使用期間があるので認定は考えなくてもよからう。バジリスク絆とかジャグラー関係またはパチンコのデジパチ海のようなロングランの機種でない限り認定の必要はない。